

## 「情報公開文書」

### 日本骨髄バンクを介する非血縁者間造血細胞移植における NGS-HLA タイピング法の有用性評価に関する研究

#### 以下、本文-----

上記の研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て、広島大学が共同研究機関として、広島大学疫学研究倫理審査委員会の承認及び研究機関の長の許可を得て、実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

#### 1. 研究の対象

2018年1月から2022年12月までの間に、骨髄バンクを介して非血縁者間造血細胞移植を受けられた方および移植ドナーとして末梢血や骨髄などの造血細胞を提供された方

#### 2. 研究目的・方法

目的：この研究では、近年に日本骨髄バンクに導入されました新しいHLA タイピング検査法（NGS-HLA 法）の有用性を評価し、移植成績の向上に結びつく有益な情報を見いだすために、NGS-HLA 法と従来のHLA タイピング検査法との比較解析を、骨髄バンクを介して非血縁者間造血細胞移植を受けられた方の臨床情報や移植成績（項目3に記載）や移植ドナーとして造血細胞を提供された方の臨床情報を用いて行います。

方法：この研究に使用する情報のうち、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除されており、本研究に必要な項目3に記載する情報のみを使用させていただきます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・移植を受けられた方

診療情報等：年齢、性別、血液型、HLA型、疾患、病期、GVHD 予防法、前処置、合併症、移植成績 等

- ・造血細胞を提供された方

診療情報等：年齢、性別、血液型、HLA型 等

### 4. 研究組織

- ・研究代表機関および研究代表者名

東海大学医学部医学科 椎名 隆

- ・共同研究機関および研究責任者名

広島大学原爆放射線医科学研究所 一戸 辰夫

琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 森島 聡子

滋賀医科大学内科学講座血液学 村田 誠

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 高橋 大輔

愛知医科大学 森島 泰雄

- ・既存試料・情報の提供のみを行う機関および担当者（責任者）名、連絡先

日本造血細胞移植データセンター 熱田 由子 TEL：0561-65-5821

公益財団法人日本骨髄バンク 小寺 良尚 TEL：03-5280-4771

### 5. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等は、解析結果の検証のために、本学へ電子的配信にて提供されます。提供を受ける場合、各々の共同研究機関で倫理審査を受け、承認されたことを条件にします。

### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 7. お問い合わせ先

広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野（電話：082-257-5858）

研究責任者 一戸 辰夫

問い合わせ担当者 一戸 辰夫

-----以上